

1 基本理念・基本方針

新庁舎建設の基本理念は、危機管理をはじめ、各種行政サービスを担う**県政の拠点**としての役割を十分果たすとともに、豊かな自然と伝統文化に彩られた「**清流の国ぎふ**」を象徴する県庁舎の整備とします。

このため、ふるさと岐阜県の魅力を内外に発信するとともに、環境にやさしく、長きにわたり県民に親しまれる県庁舎という視点も入れて、求められる性能や備えるべき機能を踏まえた次の5つの基本方針を定め、新庁舎の整備を推進します。

(1) 県民の暮らしを守る、安全・安心な県庁舎

○大地震等の災害に対する高い耐震性・安全性の確保

- ・地震や風水害をはじめとする様々な危機を想定し、高い耐震性と安全性を確保した庁舎とします。

○危機管理機能の充実

- ・県民の暮らしを守るために、災害時に県の司令塔としての役割を十分に果たせる危機管理機能を整備します。

○適切なセキュリティ対策の実施

- ・県が扱う個人情報や機密情報を確実に保護するため、セキュリティに十分に配慮した庁舎とします。

(2) 県民が集い、県民に親しまれる県庁舎

○風格と親しみやすさを併せ持つ「清流の国ぎふ」の象徴

- ・建物は県庁舎に相応しい風格を持ちながらもシンプルな形状とし、華やかな装飾は極力避け、県民に親しまれるとともに、主要な部分には県産材や県産品を積極的に活用し、「清流の国ぎふ」を象徴する空間づくりに努めます。

○利便性の高い、開かれた庁舎づくり

- ・県民等が気軽に訪れ、集い、交流や情報交換ができる庁舎とするために、利便性の向上と県民サービス機能等の整備を検討します。

○ユニバーサルデザインの追求

- ・年齢、性別、障がいの有無、使用言語等にかかわらず、すべての利用者が円滑かつ快適に利用できるユニバーサルデザインを追求した庁舎とします。

(3) 質の高い行政サービスを提供する県庁舎

○働きやすい執務環境の整備

- ・ 県民に質の高い行政サービスを提供するため、職員が効率的に働くことのできる執務環境を整備します。

○フレキシビリティの確保

- ・ 時代と共に変化し多様化する行政ニーズに迅速に応え、県庁舎に求められる社会的責任を果たすために、高いフレキシビリティを確保します。

(4) ライフサイクルコストに配慮した長寿命な県庁舎

○ライフサイクルコストの低減

- ・ 計画から設計、建設、維持管理、更新、解体までの建物の生涯全体を見据えたコスト検討により、必要な機能を満たした上で、ライフサイクルコストの低減を図ります。

○長寿命な県庁舎

- ・ 高いフレキシビリティと耐久性を確保し、維持管理や更新の容易な計画とすることで、庁舎の長寿命化を図ります。

(5) 環境共生・低炭素型の県庁舎

○省エネルギー・省資源対策の推進

- ・ 環境対策を主導する立場として、先進的な技術を導入するとともに、様々な技術の活用による省エネルギー・省資源対策を推進します。

○再生可能エネルギーと資源の有効活用

- ・ 積極的な再生可能エネルギーの活用や資源の有効活用により、環境負荷を低減し地球環境の保全を図ります。